



JSIF

Japan Sustainable Investment Forum

経済人コーポラ卓会議日本委員会

2015 ステークホルダーエンゲージメントプログラム

NPO/NGO団体からの「ビジネスと人権」に関する課題提起

## 責任投資・ESG投資の近年における急拡大と 企業に求められる対応

2015年6月10日

NPO法人 社会的責任投資フォーラム(JSIF)

会長 荒井 勝

# 責任投資の急拡大 2012-2014

世界のサステナブル投資額  
東京証券取引所 時価総額

2,568兆円

516兆円

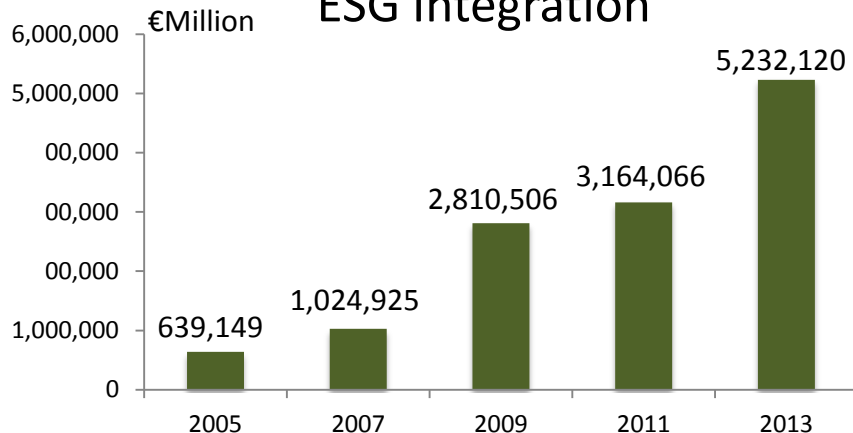
単位:兆円

	分 類	2012 年	2014 年	12⇒14 年
1	ネガティブ(除外)・スクリーニング	994	1727	1.7 倍
2	ESG 投資(ESG インテグレーション)	712	1542	2.1 倍
3	エンゲージメント・議決権行使	551	845	1.5 倍
4	規範に基づく投資	365	664	1.8 倍
5	ポジティブ/ベストインクラス・スクリーニング	120	119	0.99 倍
6	持続可能性テーマ投資	8	20	2.4 倍
7	インパクト/コミュニティ投資	10	13	1.3 倍

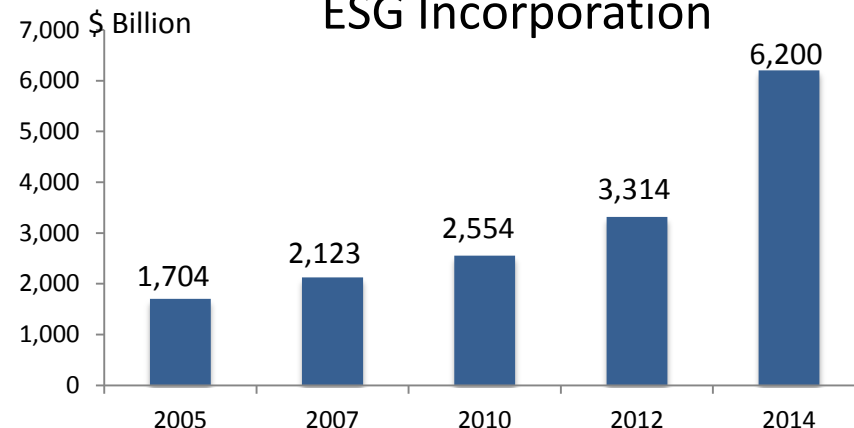
# ESG投資とエンゲージメントの急拡大



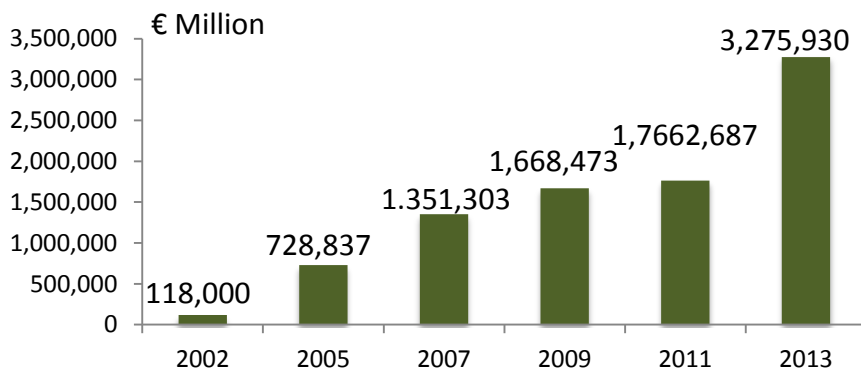
## ESG Integration



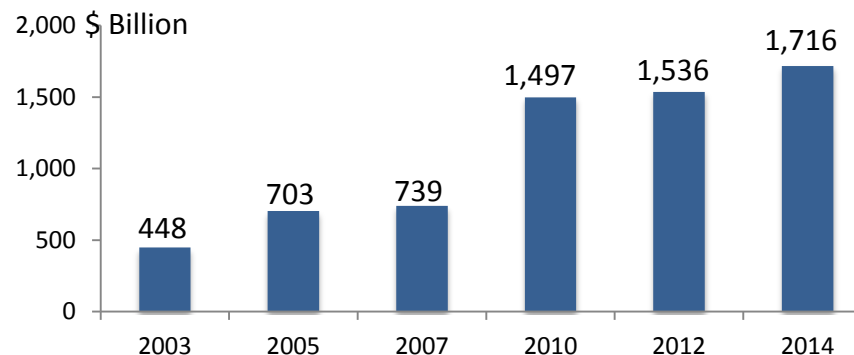
## ESG Incorporation



## Engagement and Voting Strategies

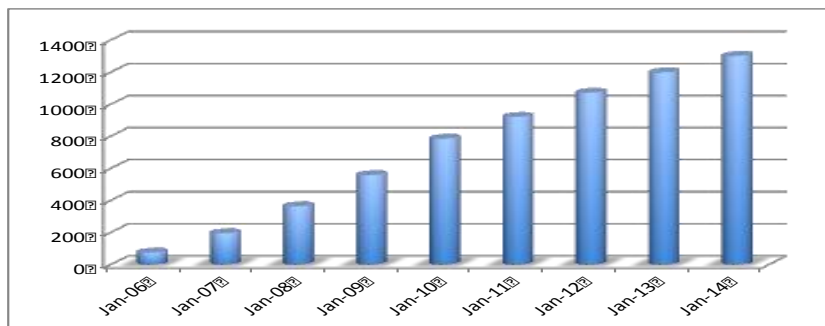


## Shareholder Advocacy



出典: Eurosif USSIFのレポートを基に荒井が作成

### PRI署名機関数



**世界** 1382

年金基金など資産保有者 289  
 資産運用会社 899  
 情報サービス提供会社 194

**日本** 30

年金基金など資産保有者 5  
 資産運用会社 21  
 情報・運用サービス提供会社 4

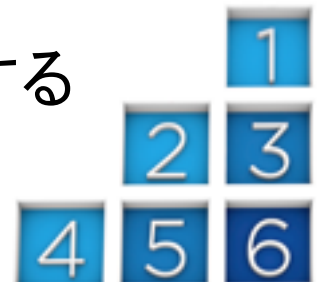
### 国内署名機関 30

- ・キッコーマン年金基金
- ・セコム企業年金基金
- ・損保ジャパン日本興亜
- ・太陽生命保険
- ・東京海上日動
- ・朝日ライフアセットマネジメント
- ・大和証券投資信託委託
- ・大和住銀投信投資顧問
- ・DIAMアセットマネジメント
- ・HCアセットマネジメント
- ・J-STAR
- ・みさき投資
- ・三菱商事・ユービーエス・リアルティ
- ・三菱UFJ信託銀行
- ・みずほ信託銀行
- ・MU投資顧問
- ・日興アセットマネジメント
- ・ニッセイアセットマネジメント
- ・野村アセットマネジメント
- ・りそな銀行
- ・損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント
- ・三井住友信託銀行
- ・三井住友アセットマネジメント
- ・T&Dアセットマネジメント
- ・東京海上アセットマネジメント投信
- ・東京海上キャピタル
- ・アーク東短オルタナティブ
- ・CSRデザイン環境投資顧問
- ・インテグレックス
- ・QUICK



国連責任投資原則 (Principles for Responsible Investment)

1. 投資分析と意思決定のプロセスに、ESGの課題を組み込む
2. 自ら働き掛ける所有者(active owner)として、資産所有の方針と実践に際してESG課題を組み込む
3. 投資対象の主体に対してESG課題の適切な開示を求める
4. 運用業界が本原則を受け入れ、実行するよう働き掛ける
5. 本原則を実践する効果を高めるために、協働する
6. 本原則の実践についての、活動や進捗状況を報告する



# 世界の年金基金上位20のうち約半数がPRIに署名

世界上位20基金中 10基金がESG投資 資産比率で49%

日本の3基金署名で  
76%

年金積立金管理運用 独立行政法人(GPIF)	Rank	Fund	Market	Total Assets		
	1.	Government Pension Investment	Japan	\$1,221,501	●	● 日本
	2.	Government Pension Fund	Norway	\$858,469		
	3.	ABP	Netherlands	\$415,657		
	4.	National Pension	South Korea	\$405,521		
	5.	Federal Retirement Thrift	U.S.	\$375,088	●	● 米国
	6.	California Public Employees	U.S.	\$273,066		
	7.	Canada Pension	Canada	\$206,173		
	8.	National Social Security	China	\$205,168	●	● アジア (除く日本)
	9.	Central Provident Fund	Singapore	\$200,376	●	
	10.	PFZW	Netherlands	\$196,933		
	11.	Employees Provident Fund	Malaysia	\$182,216	●	
地方公務員 共済組合連合会	12.	Local Government Officials	Japan	\$179,820	●	
	13.	California State Teachers	U.S.	\$172,424		
	14.	New York State Common	U.S.	\$164,008	●	
	15.	Florida State Board	U.S.	\$146,266	●	
	16.	New York City Retirement	U.S.	\$143,925		
	17.	Ontario Teachers	Canada	\$132,445		
	18.	Texas Teachers	U.S.	\$119,706	●	
企業年金連合会	19.	GEPF	South Africa	\$117,681		
	20.	Pension Fund Association	Japan	\$117,636	●	

出典：P&I/TW 300 analysis Year end 2013とPRI資料より荒井が作成

# 日本版スチュワードシップ・コード

- ◆ 『責任ある機関投資家』の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》
- ◆ 受け入れを表明した機関投資家は184(2015年3月12日現在)
- ◆ 公表ウェブサイトをも記 3か月ごとに金融庁が集計・公表

投資信託銀行等	6
投信・投資顧問会社等	129
生命保険会社	17
損害保険会社	4
年金基金等	21
議決権行使助言会社等	7
合 計	184

# 日本版スチュワードシップ・コード

## 本コード(責任ある機関投資家の諸原則)の原則

投資先企業の持続的成長を促し、顧客・受益者の中長期的な投資リターンの拡大を図るために、

1. 機関投資家は、スチュワードシップ責任を果たすための明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
2. 機関投資家は、スチュワードシップ責任を果たす上で管理すべき利益相反について、明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
3. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に向けてスチュワードシップ責任を適切に果たすため、当該企業の状況を的確に把握すべきである。
4. 機関投資家は、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」を通じて、投資先企業と認識の共有を図るとともに、問題の改善に努めるべきである。
5. 機関投資家は、議決権の行使と行使結果の公表について明確な方針を持つとともに、議決権行使の方針については、単に形式的な判断基準にとどまるのではなく、投資先企業の持続的成長に資するものとなるよう工夫すべきである。
6. 機関投資家は、議決権の行使も含め、スチュワードシップ責任をどのように果たしているのかについて、原則として、顧客・受益者に対して定期的に報告を行うべきである。
7. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に資するよう、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づき、当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。



# 『日本版スチュワードシップ・コードの受け入れ』 ニッセイアセットマネジメント

- 私たちは、企業価値を中長期の業績予想をもとに算出しますが、そのためには財務情報に加えて **非財務情報の取得が不可欠**と考えています。
- 運用担当者は、「企業との対話」を通じて **非財務情報を積極的に取得し**、当該企業の **中長期的な経営ビジョン**や業界の構造変化などの外部環境等を勘案し、中長期の業績予想を行います。
- さらに、私たちは投資先企業の持続的成長力(サステナビリティ)を把握するための軸として、**ESG 評価を行うことが重要である**と考えています。そのため私たちは独自の **ESG 評価**を運用プロセスに組み込み、**中長期の業績予想の確信度を向上させるよう**努めています。また、運用担当者は **ESG 評価**を活用して「企業との対話」をより深いものとするこことで、投資先企業の的確な状況の把握に努めています。

# FTSE ESG Ratingsの新基準と課題

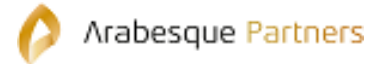
ESG (1)	Pillar (3)	Theme (14)		Indicator (310)
ESG Rating	環境 Ecology	気候変動	✓ サプライチェーン	
		✓ 水の使用		
		✓ 生物多様性		
		汚染・資源		
	社会 Social	健康・安全	✓ サプライチェーン	
		労働基準		
		人権・コミュニティ		
		✓ 顧客責任		
	ガバナンス Governance	企業ガバナンス		
		リスク・マネジメント		
		✓ 納税の透明性		
		腐敗防止		

# 望まれるESG投資と企業の情報開示の好循環

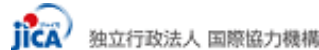


## JSIF Corporate Members

### プレミアム法人会員



### 一般法人会員



## JSIF supports following initiatives

